

(様式1-表)

令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	62	豊田市立 追分小 学校	代表	玉腰 美香
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	生き生きと学び合い、地域を笑顔にする追分っ子の育成	分野	i	その他
	サブテーマ	i(その他)は分野を右欄に記入	地域連携	
学校づくりの視点（ねらい）	・本校は、現職教育研究主題「ねばり強く、生き生きと学び合う追分っ子の育成 ―ユニバーサルデザインの視点で、誰もが伝え合える学びを―」の下、子どもの主体的な学びの力を育成している。 ・地域の力を活用することで、地域に愛され、地域で生かされ、地域を笑顔にする追分っ子を育成する。 ・少人数のよさを生かした一人一人が活躍できる場の確保や、身近な自然や地域の人・もの・ことを活用した体験を通して、子どもたちの主体的な学びの力を育成する。 ・主体的な学び合いの力を身に付けさせることで、自信をもって自己表現したり、積極的に他者に関わっていく態度を育てる。			
活動内容・計画	・地域のひと・もの・ことに学び、自分の考えや思いを交流し合う学習課程を通して、他者にかかわり、自分の世界を広げる力を育成する。 ・自然観察会や各教科の授業を通して学校周辺の自然に触れ、地域の方や保護者と一緒に活動したり、地域の歴史を学んだりすることで、地域を愛し、地域の方に愛される態度や心を育てる。 ・学区の歴史や文化、自然などを地域の方から学ぶことで、地域の方との交流を楽しみ、地域を誇りに思う態度や心を育てる。 ・毎日の登下校で交通安全の見守りをしてくださる地域の方に感謝して、気持ちのよい挨拶の声を響かせて地域の方と触れ合うことで、地域に愛着をもてるようにする。 ・元城小学校との交流活動を通して、地域の自然や地域のよさを他地区と比較する中で学び、中学年の学びを全校や地域に広げていく。 本校での体験の時には、自然観察会や大人数でのゲームなどで交流を深める。 ・地域の方からの指導を受けて学級花壇や学校農園などでの栽培活動を行い、地域の方との交流を楽しむ。 ・地域講師を招いて、歌声の響かせ方や合奏の演奏練習をしたり、陶芸体験をしたりして表現活動を楽しむ。(学習発表会・卒業式) ・読書活動や探究的な学習の支援として、司書の力を活用して図書館の学習・情報センターとしての機能の充実を図る。 ・自然観察会、元城小学校との交流などの児童の活動の場として安全に活用するため、校内整備員を活用し、整備を行う。 ・心の相談員を活用し、発達段階や特性に応じてどの児童も学習活動に参加できるようにする。			
補助員配置	・学校周辺の環境整備のために校内整備員の配置。 ・図書館の学習・情報センター機能の充実を図るために司書の配置。 ・児童が安心して過ごせる環境や学習の場づくりのための心の相談員の配置。			
実績・期待される効果	・地域の人・もの・ことに学ぶ活動を通して、地域の多様な価値に触れ、考えを交流することで、他者と関わりながら自分の世界を広げる力を育むことができる。 ・自然や歴史に親しみ、地域の方との活動を通して、地域を愛し、地域に愛される心を育てることができる。 ・地域の方への感謝の気持ちを込めた挨拶を通して、地域とのつながりを感じ、愛着を深めることができる。 ・植物を育てる体験と地域の方とのふれあいを通して、命を大切にする心と責任感を育てることができる。 ・合唱や陶芸などを専門的な講師を招いて行うことで、自己表現の楽しさを知ることができる。 ・読書や探究活動を支える環境を整え、情報活用能力や主体的に学ぶ姿勢を養うことができる。 ・安心して活動できる環境と個に応じた支援を整えることにより、すべての児童が学びに参加しやすくなる。			
検証方法	・保護者アンケートの評価。 ・各取組における教師の意見や児童の様子。 ・発表の場である「運動会」「交流活動」「学習発表会」での児童の様子や発表内容。 ・図書館の利用回数や貸出冊数、図書の種類や活用状況。また、教師や児童の声。 ・学校運営協議会での意見や地域の方の声など。 ・各授業における児童の様子や学びの成果。			